

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 16日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者  
住 所 岩手県釜石市大只越町1丁目2番15号  
氏 名 株式会社 山 長 建 設  
代表取締役 山 崎 寛  
電話番号 0193-22-3223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山 長 建 設
事業場の所在地	岩手県釜石市大只越町1丁目2番15号
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 (総合工事業)
② 事業の規模	完成工事高 1,499,323 千円
③ 従業員数	32 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はない		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（      4      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分を行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら行う予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（      4      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画

## 1. 会社概要

会 社 の 名 称	株式会社 山 長 建 設
所 在 地	岩手県 釜石市大只越町1丁目2番15号
資 本 金	3,000 万円
従 業 員 数	32 名
元 請 完 成 工 事 高	1,499,323 千円
廃 棄 物 担 当 部 署 処 理 計 画 担 当 者	土木部                  工事部長                  (電話 0193-22-3223)

## 2. 計画期間

令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月31日 まで

### 3. 管理体制

現 状 （現在）	計 画 （今後）	実施年度
<p>1. 組織体制</p> <p>①廃棄物担当部署 本社に設置している。 （本社 土木部）</p> <p>②廃棄物担当者 （本社 工事部長） （現場 現場代理人）</p>	<p>①廃棄物担当部署 現状と同様に本社に設置する。 （本社 土木部）</p> <p>②廃棄物担当者 現状と同様とする。</p>	平成20年度～
<p>2. 情報管理体制 （本社） 各業者等からの情報の提供をするとともに現場からの マニフェスト伝票を整理。 （作業所） マニフェスト伝票により、廃棄物の種類等を把握。</p>	現状と同様とする。	
<p>3. 啓発活動等について</p> <p>◎廃棄物担当者に対する研修 県の排出事業者説明会等に参加</p> <p>◎各現場における活動 毎月の会議において不適正処理がないよう指示・確認</p> <p>◎協力会社に対する活動 着工前および施工前のミーティングにより廃棄物の処理方法を 指示・確認し周知徹底をはかる。</p>	現状と同様とする。	



#### 4. 排出の抑制に関する事項

項目	現 状 （現在）	計 画 （今後）	実施年度
発 生 の 抑 止	(1) 発生量の把握方法について 発生量はマニフェスト伝票により把握し、現場完了後数量を 本社にて総括する	現状管理に加え、施工方法の検討により発生量の減量に努める。	平成20年度～
	(2)発生抑制について a 工法の改善 ■ 実施中 □ 未実施 種類 コンクリートガラ b 梱包材の簡素化 ■ 実施中 □ 未実施 種類 木くず、廃プラスチック類 c 実寸発注 ■ 実施中 □ 未実施 種類 木材製品・コンクリート製品 d ユニット化持ち込み ■ 実施中 □ 未実施 種類 ガラス・陶磁器類	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 種類 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 種類 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 種類 木材製品・コンクリート製品 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 種類 ガラス・陶磁器類	平成23年度～
	e 余剰材の引き取り ■ 実施中 □ 未実施 種類 木くず・廃プラスチック類 f その他 <input type="checkbox"/> 実施中 □ 未実施 種類	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 種類 木くず・廃プラスチック類 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない □ 現状維持 種類	
	(3)分別の方法について ① 有用物との分別 ■ 実施中 □ 未実施 ② 一般廃棄物との分別 ■ 実施中 □ 未実施 ③ 脱水等の中間処理を行うものとの分別 ■ 実施中 □ 未実施 ④ 安定型品目と管理型品目との分別 ■ 実施中 □ 未実施	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持 <input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> しない ■ 現状維持	

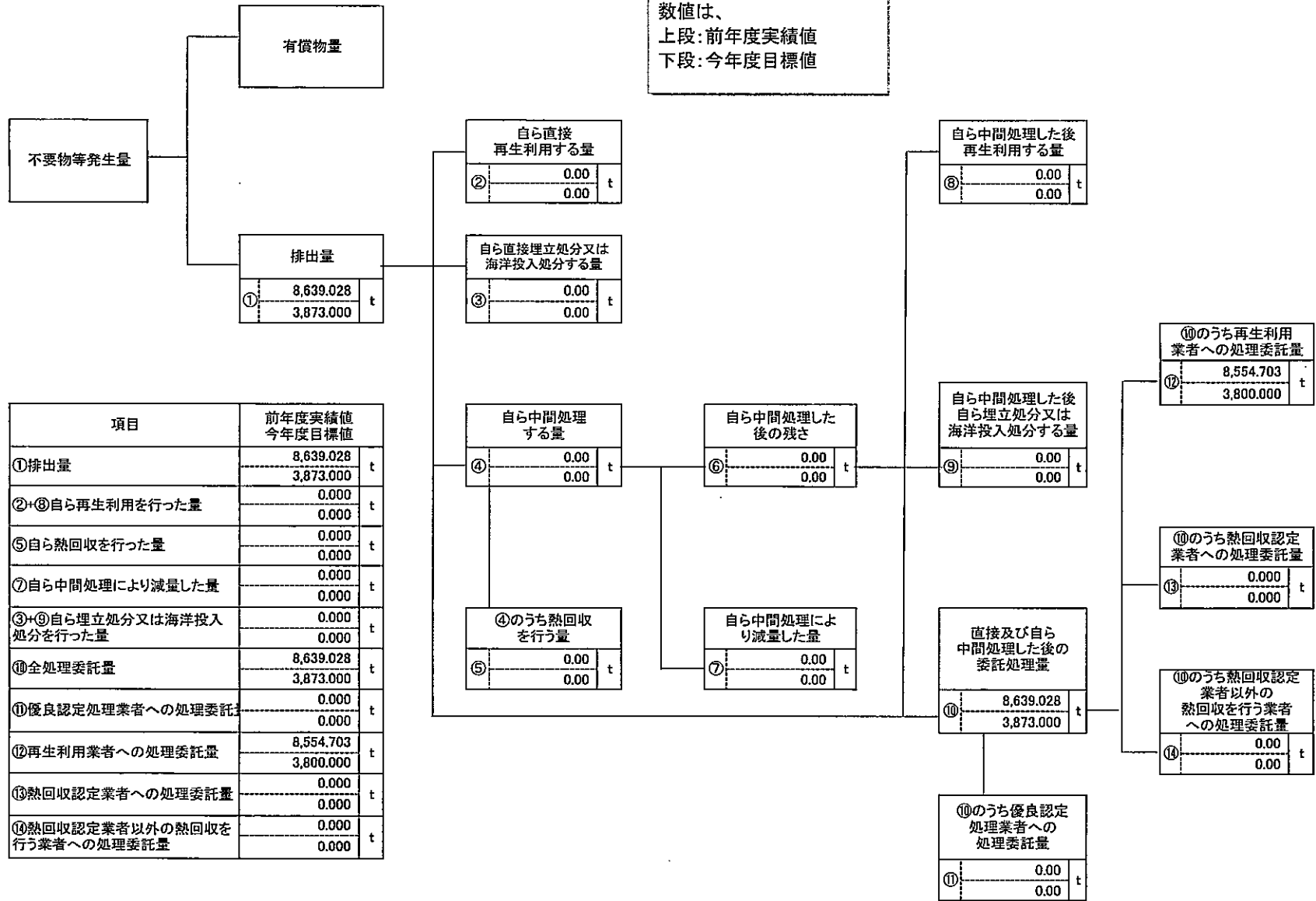
項目	現 状 (現在)	計 画 (今後)	実施年度
保管状況	(1)保管状況について  ① 保管施設の表示           ■ 有       □ 無 ② 飛散、流出の防止策       ■ 有       □ 無 ③ 地下浸透の防止策       ■ 有       □ 無 ④ 悪臭の防止策           ■ 有       □ 無 ⑤ 周囲の囲いがある施設     ■ 有       □ 無 ⑥ ネズミ等害虫防止策       □ 有       ■ 無 ⑦ 保管量の適正化           ■ 有       □ 無 ⑧ 廃泥水等の対策           □ 有       ■ 無 ⑨ 火災時対策           ■ 有       □ 無	□ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持	平成20年度～
	(2)自己処理状況について  アスファルトがら、コンクリートがらは、各現場にて30cm以下に小割して処理している。	現状を維持する。	
	処理施設の状況 a 中間処理施設の種類の □ 設置している           ■ いない b 最終処分場の種類の □ 設置している           ■ いない	□ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持	
	(3)委託処理について ① 受託者の事業範囲の確認   ■ 有       □ 無 ② 予め文書の通知           ■ 有       □ 無 ③ 書面による契約           ■ 有       □ 無	□ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持 □ 改善する               ■ 現状維持	
	(4)委託処理後の管理について ① 現地処理施設の定期確認   ■ 有       ■ 無  ② その他 マニフェスト伝票E票にて確認	□ 実施する           □ しない           ■ 現状維持  □ 実施する           □ しない           ■ 現状維持	

項目	現 状 (現在)	計 画 (今後)	実施年度
帳簿の整備	(1)帳簿の整備について ① マニフェストの使用 ■ 使用している                      □ いない 発行責任者:現場代理人  ② マニフェストの管理 ■ 実施している                      □ いない 伝票管理部署名                      ( 本社 ) 最終処分確認部署名                  ( 現場代理人 ) 集計処理部署名                      ( 本社 )  ③ 現地確認                                  ■ 有      □ 無	 ■ 現状維持                                  □ 改善する   □ 新規実施                                  ■ 現状維持 伝票管理部署名                              ( 本社 ) 最終処分確認部署名                          ( 現場代理人 ) 集計処理部署名                              ( 本社 )  ■ 実施する                                  □ しない	平成20年度～
	(2)下請業者の管理について ①基本的考え方 廃棄物の種類により業者を選定する  ② 下請業者への指示事項 ■ 廃棄物処理法等の法令遵守 ■ 分別・再生利用等による減量化 ■ 指示事項に対する報告 □ その他  ③ 解体工事での下請業者指導 a 発注形態 各現場ごと、文書により契約  b 解体方法の指示事項 工事の仕様書に基づき処理方法を指示	   □ 実施する                                  ■ 現状維持 □ 実施する                                  ■ 現状維持 □ 実施する                                  ■ 現状維持 □ その他	

(産業廃棄物の種類: 全 体 )

【別紙】今年度の計画

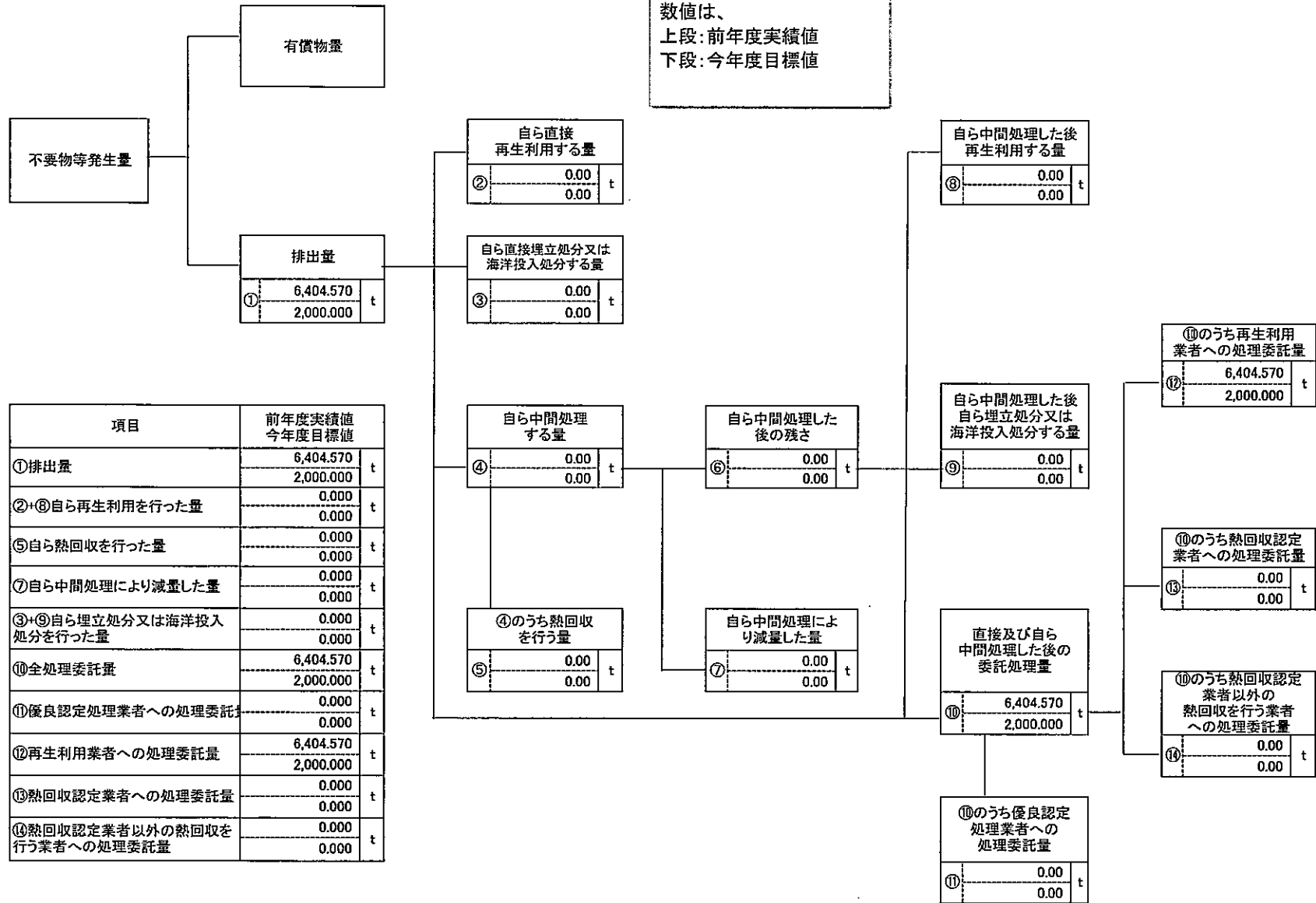
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンガラ(無筋) )

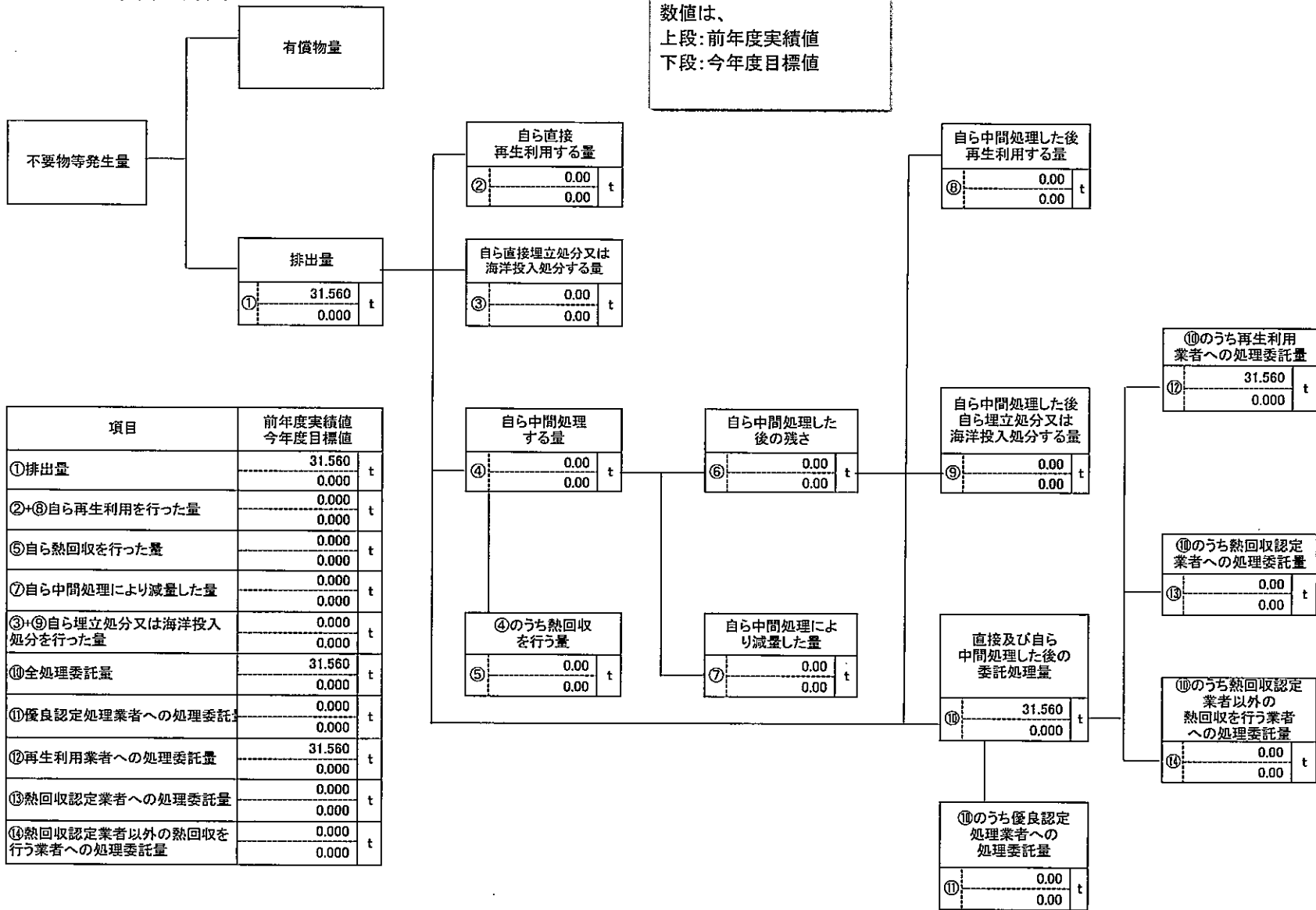
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンガラ(二次製品))

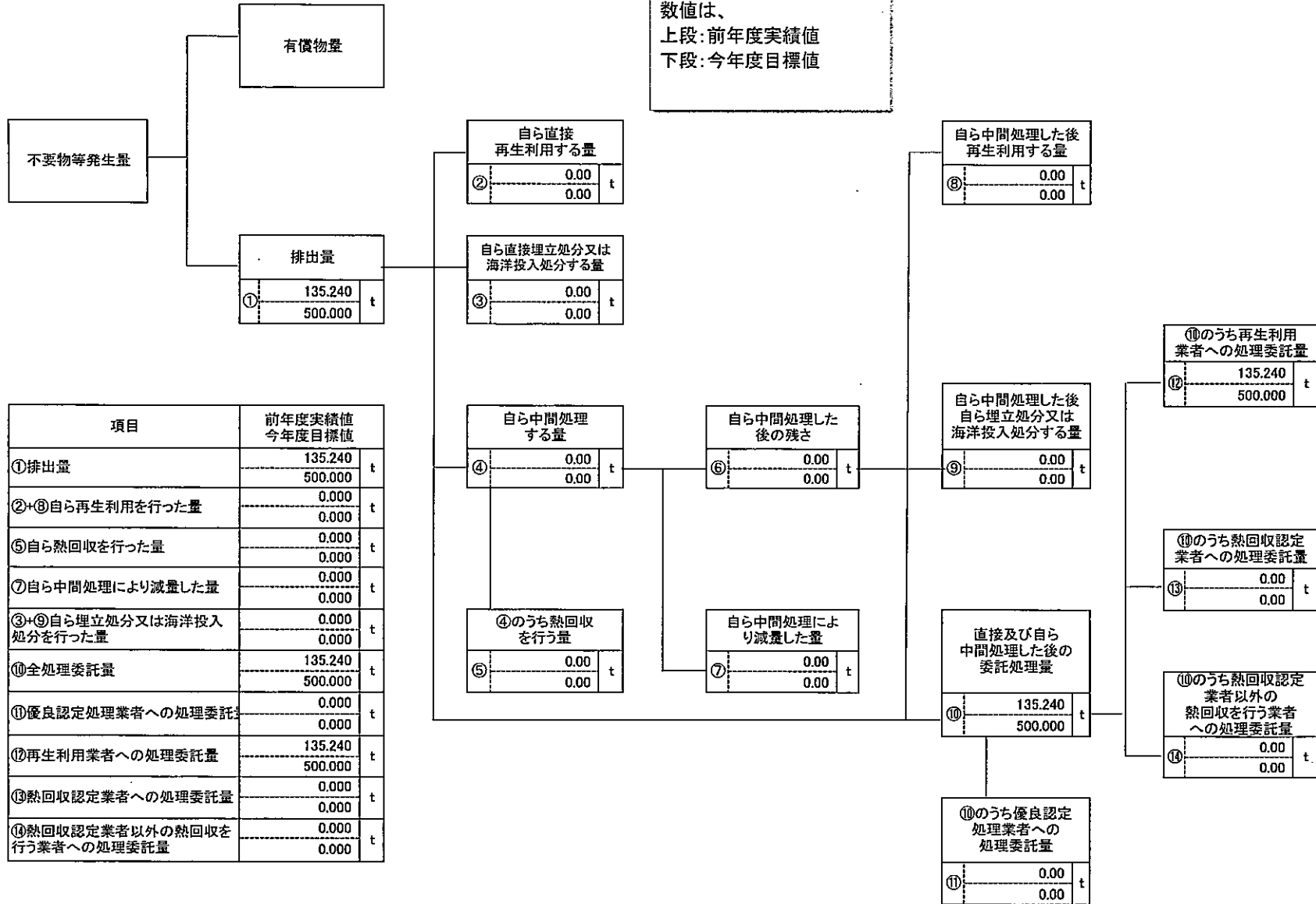
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンガラ(有筋) )

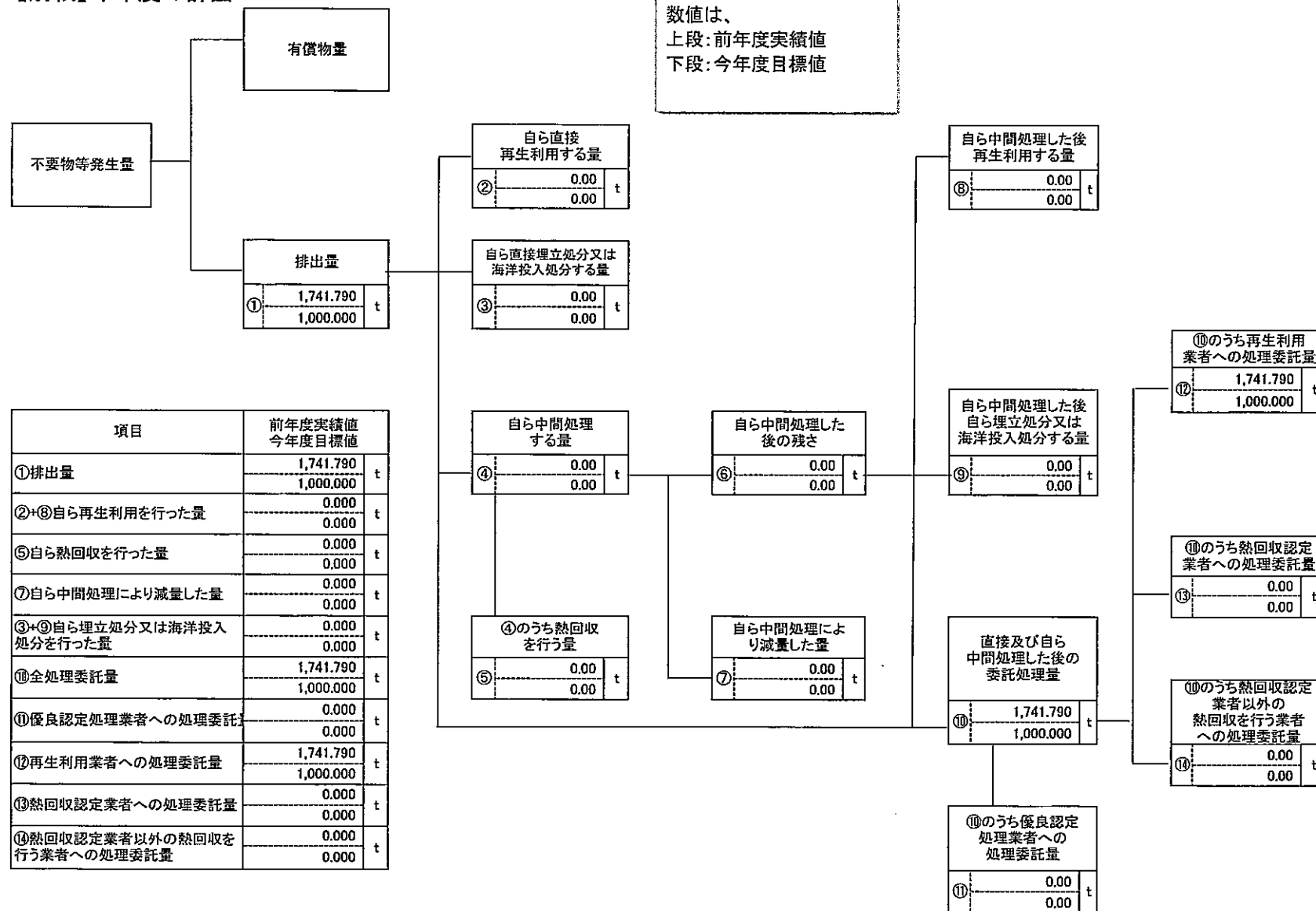
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: アスコンから )

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

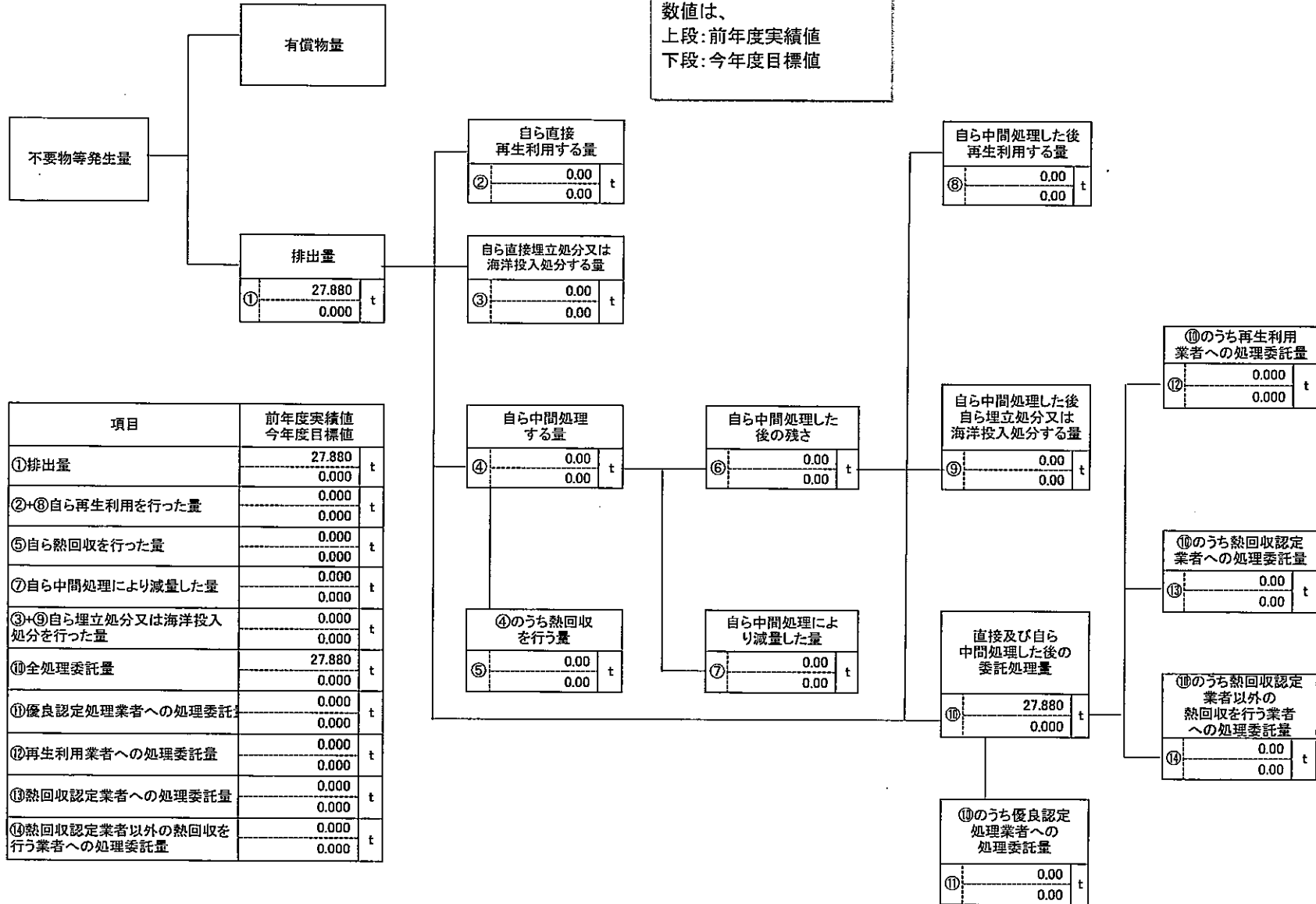




【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

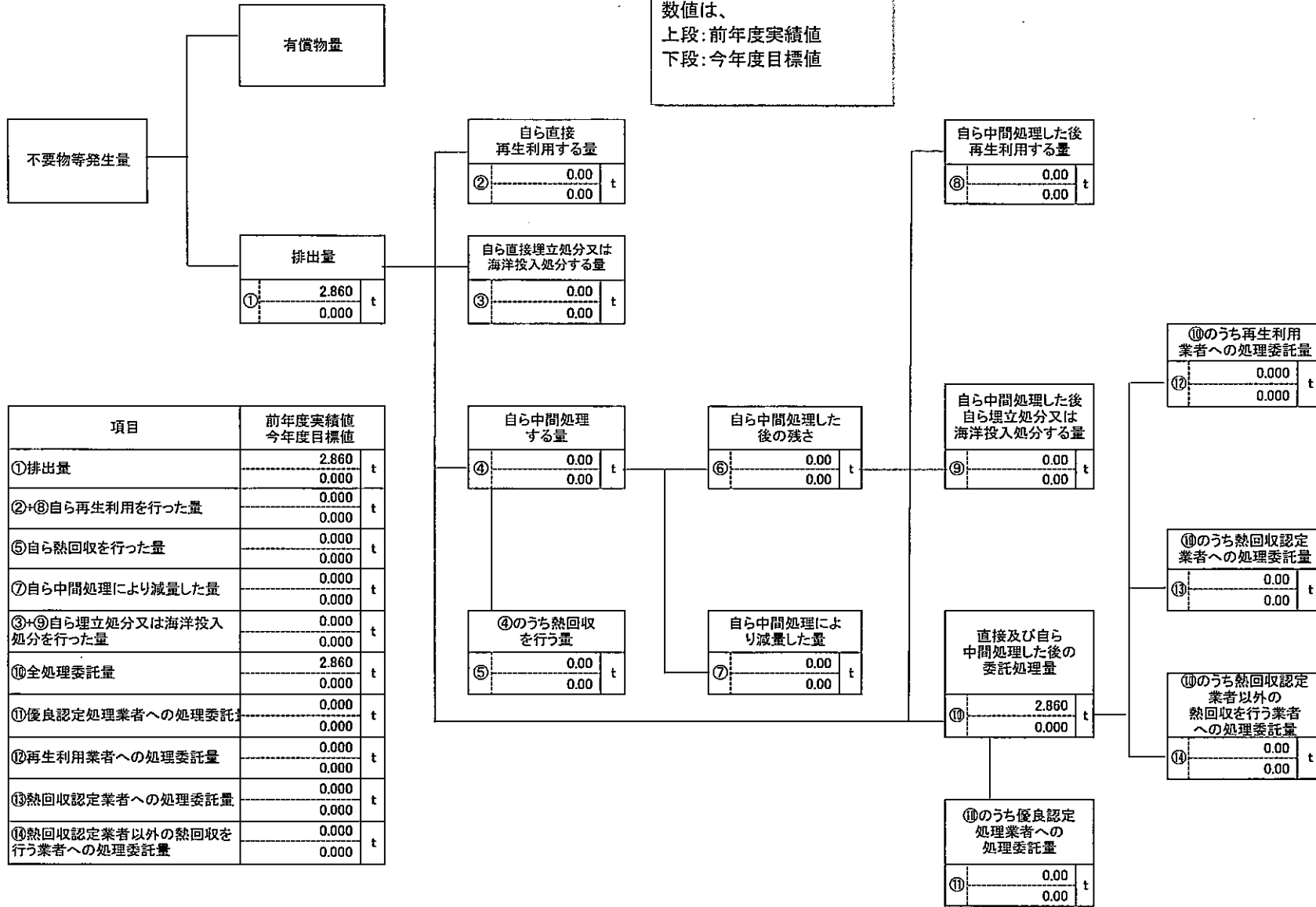
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: ガラス・陶器くず)

【別紙】今年度の計画

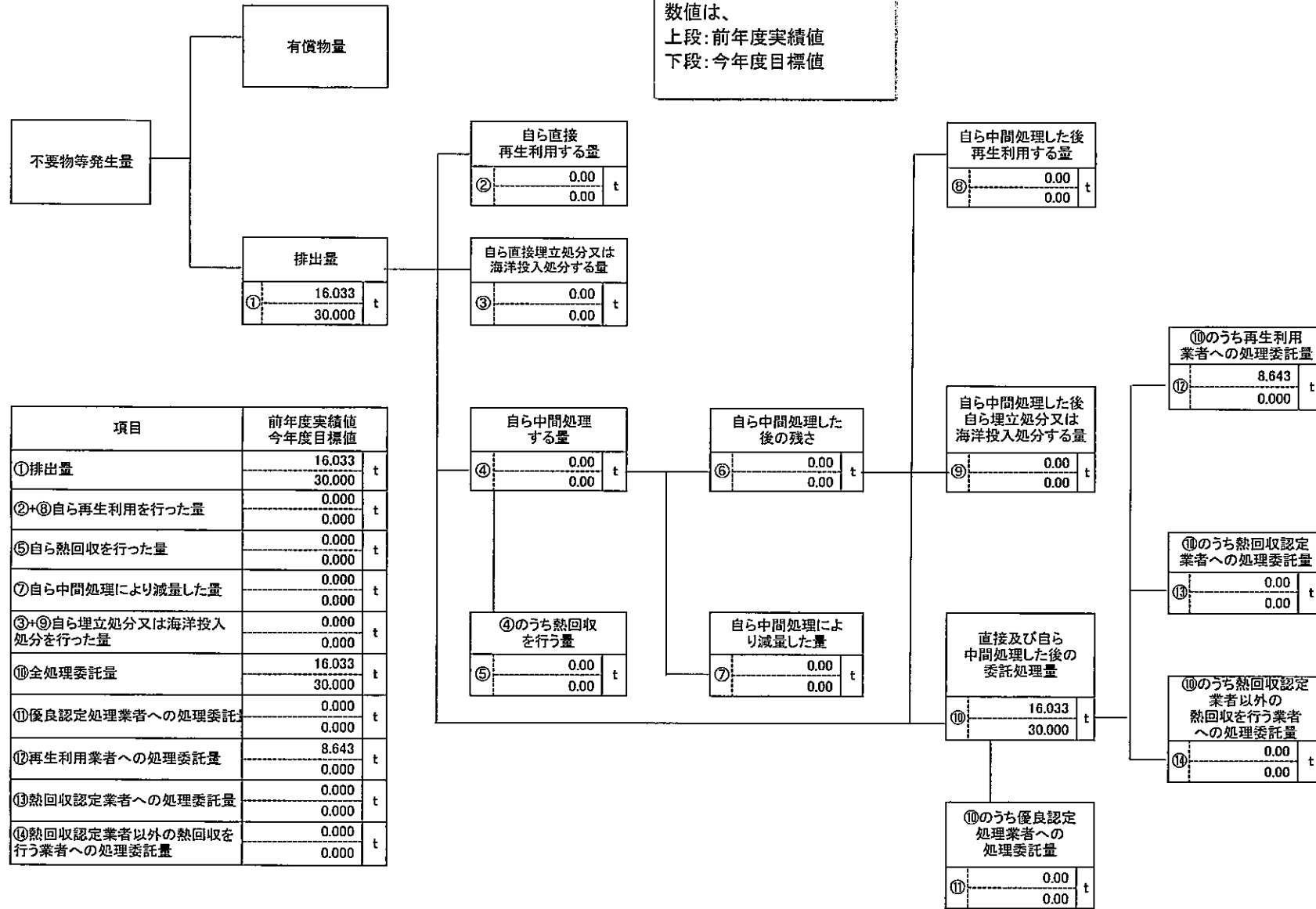
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

【別紙】今年度の計画

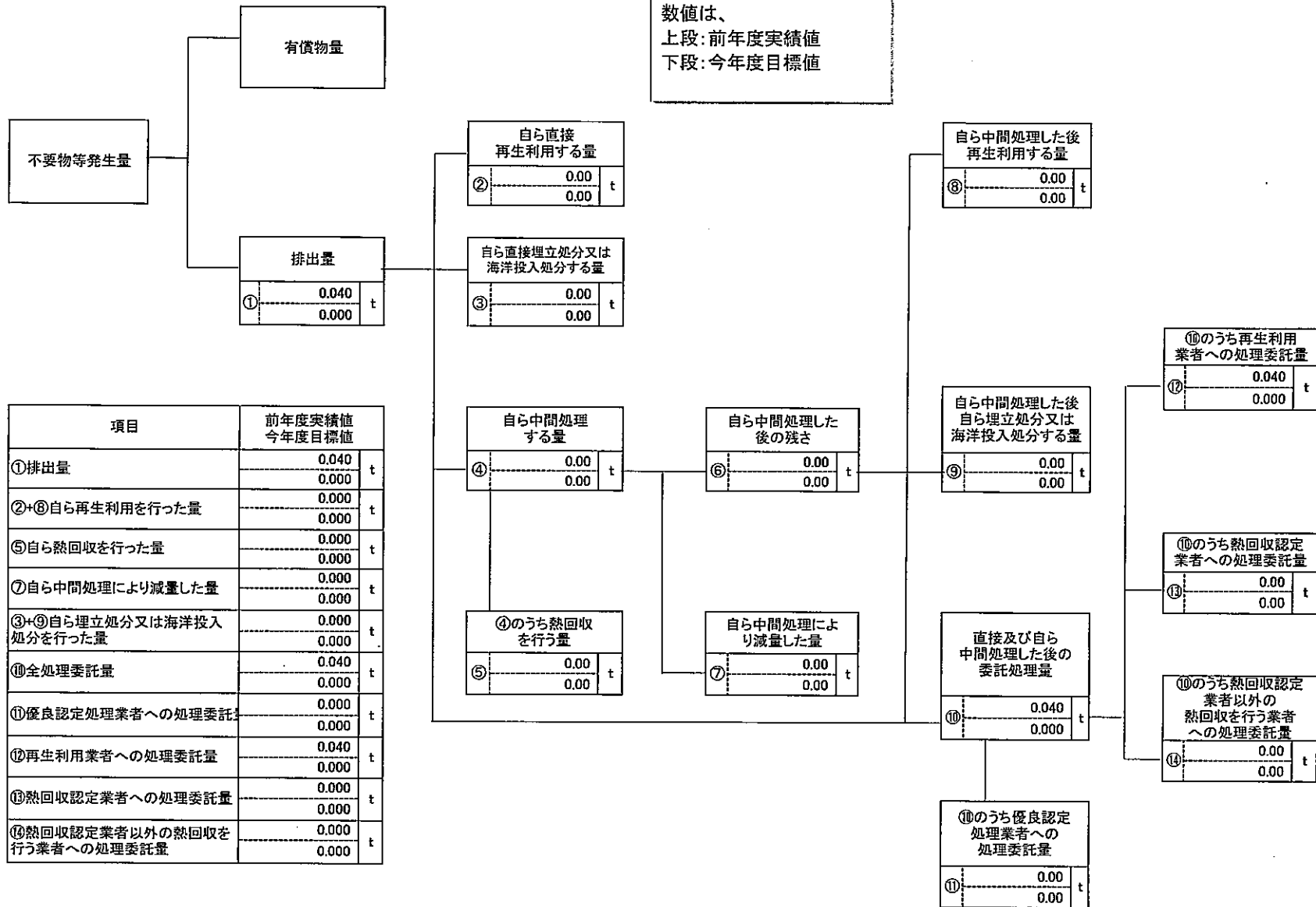
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず )

【別紙】今年度の計画

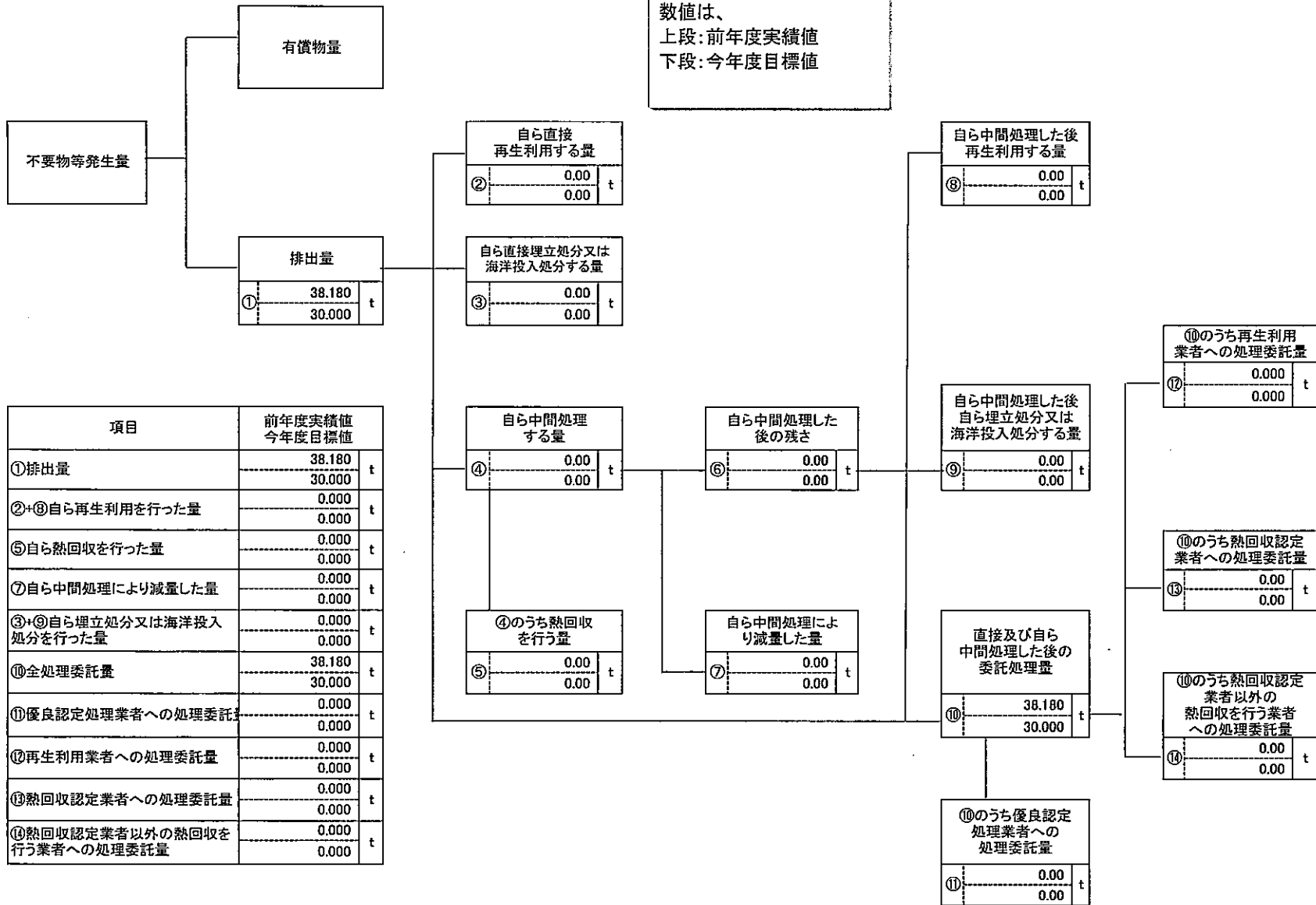
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 混合(安定型) )

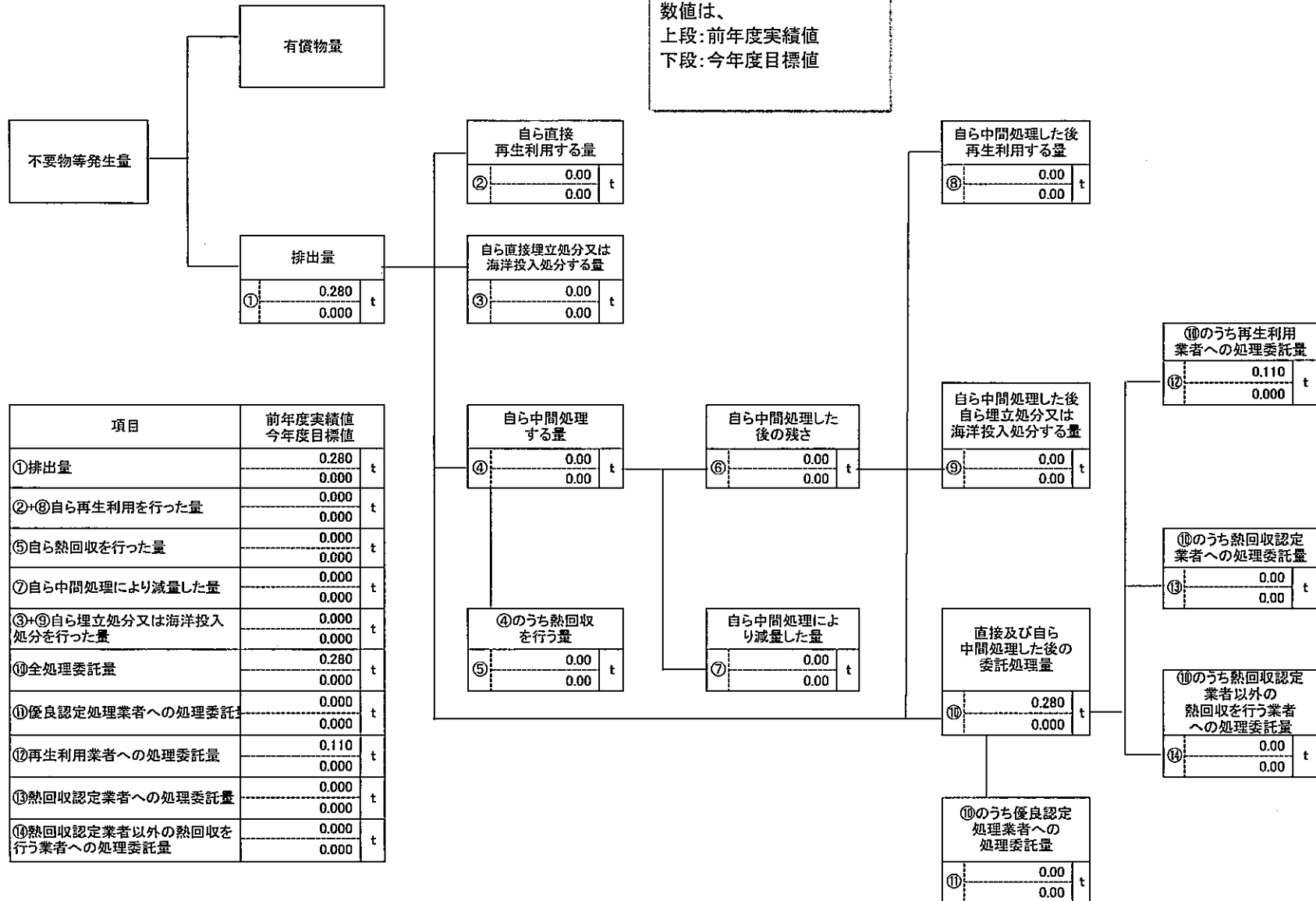
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

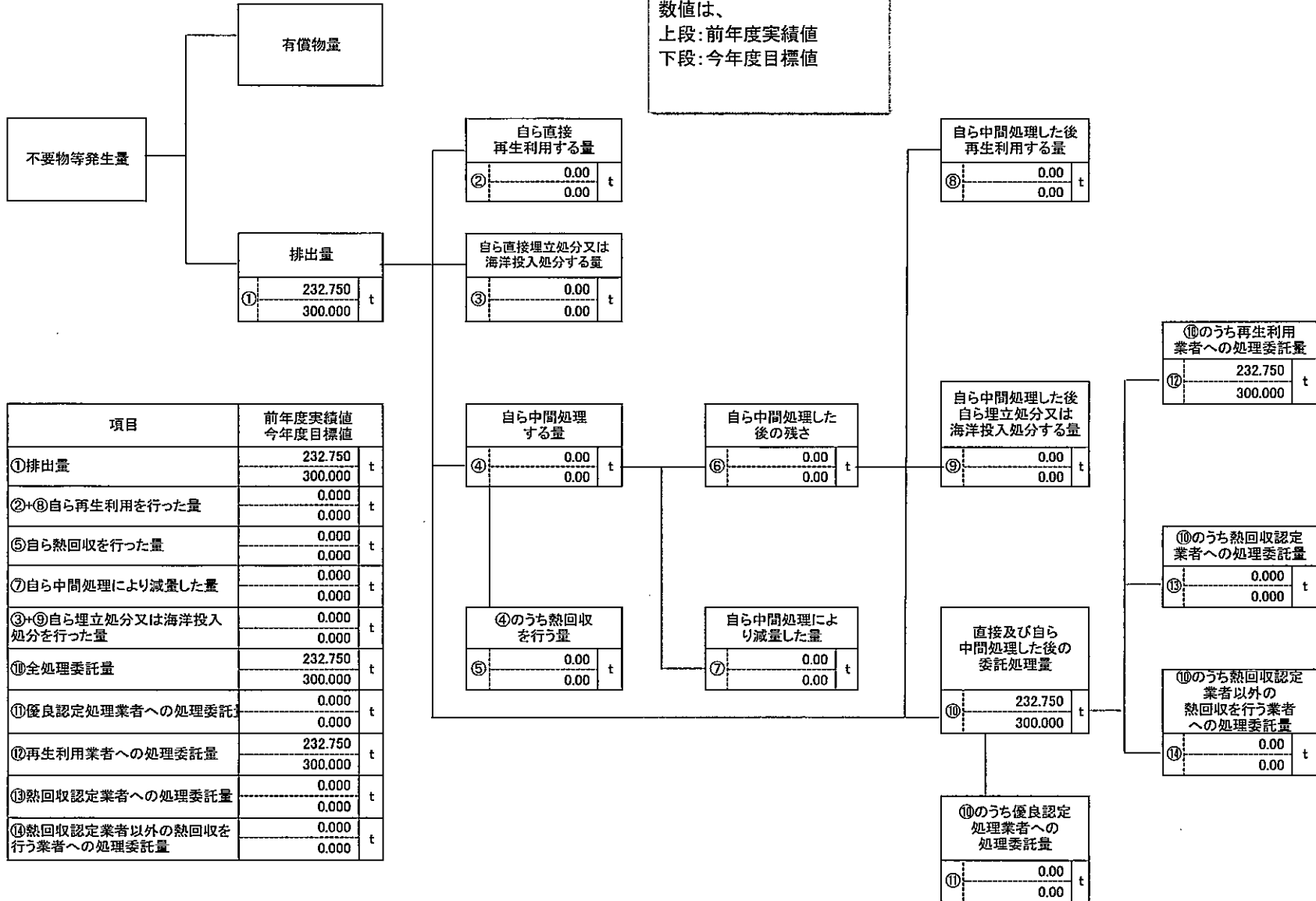
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず )

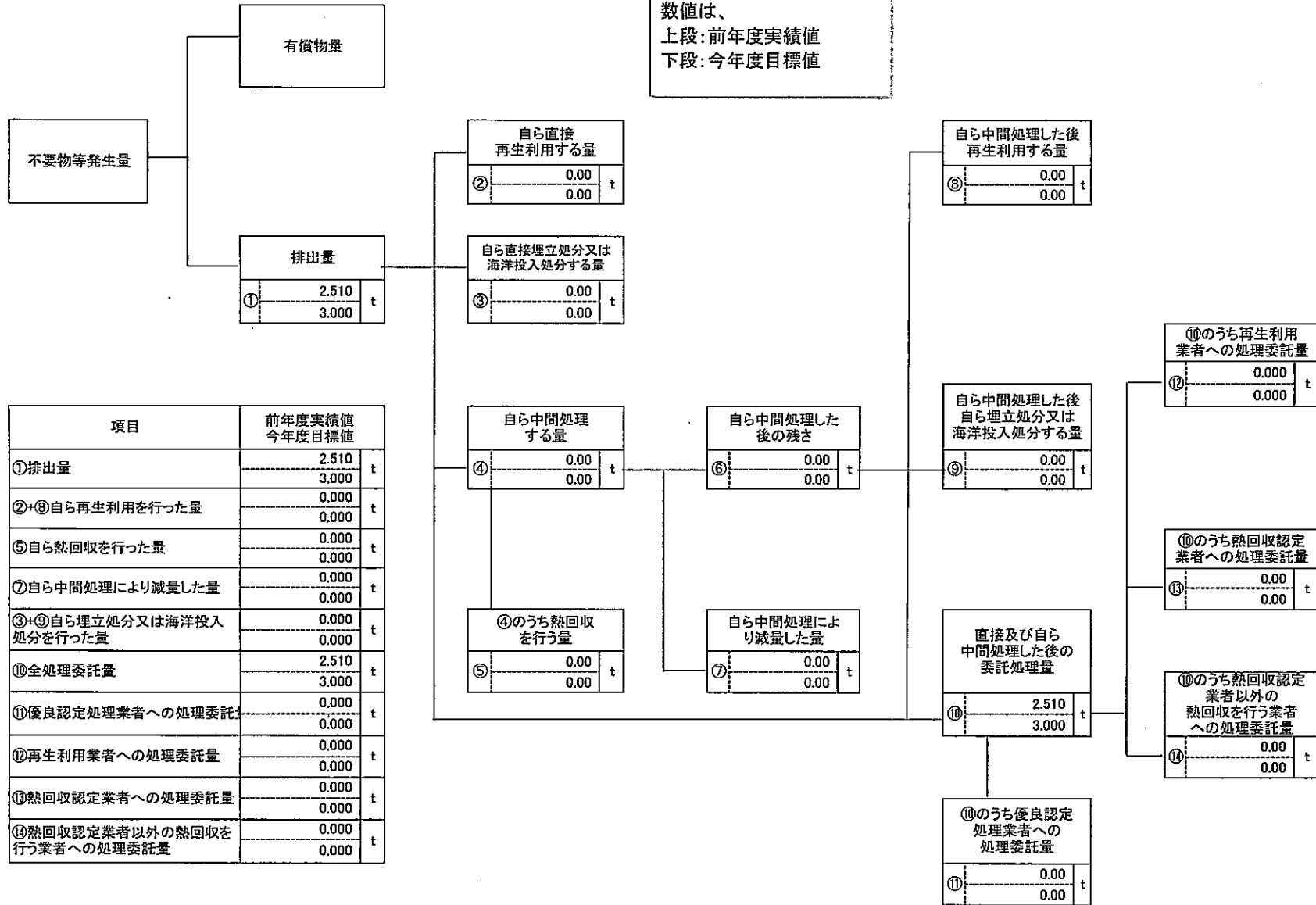
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

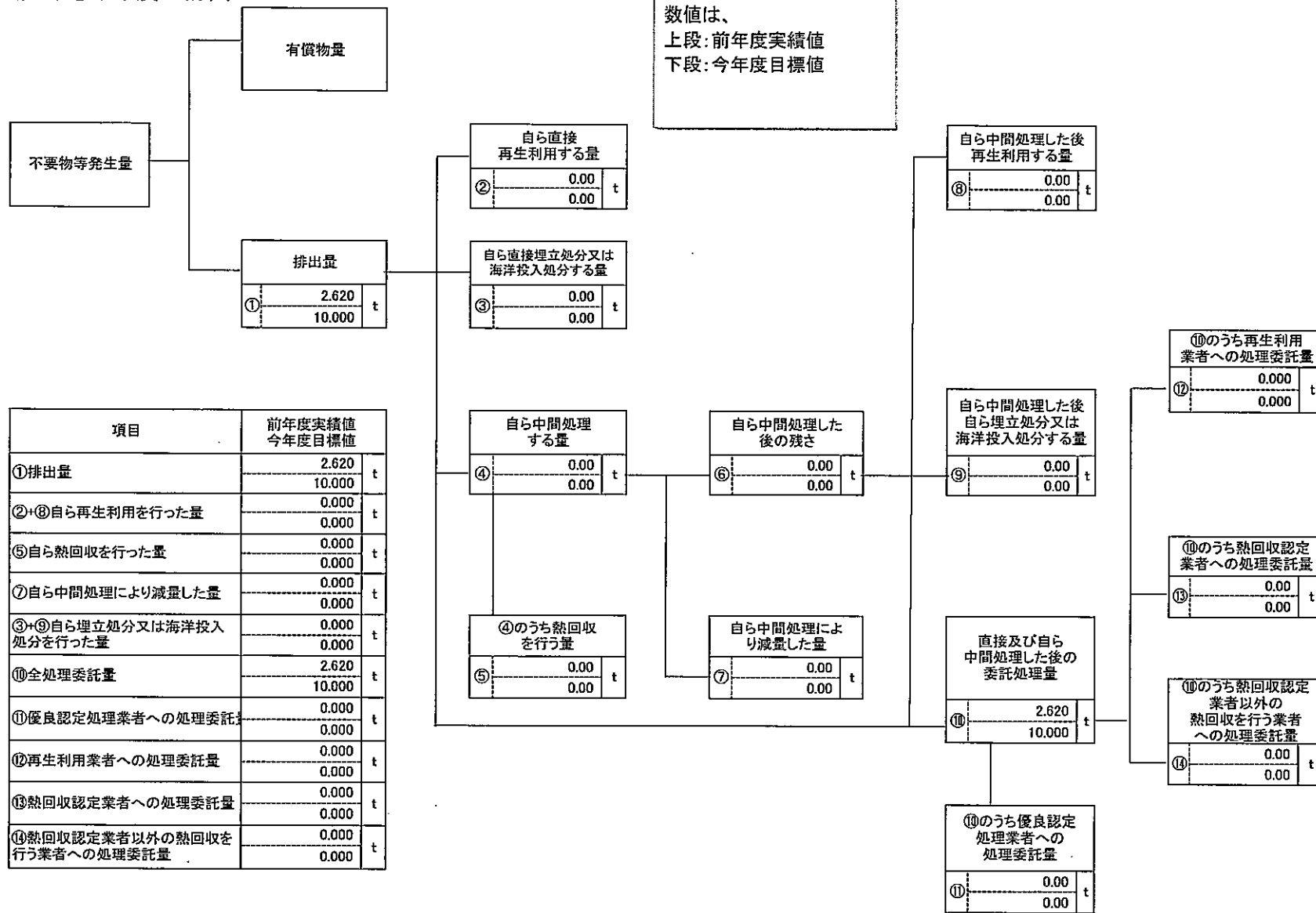




【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型含む))

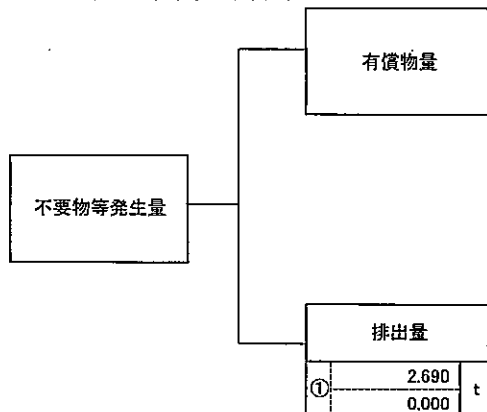
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 石綿含有廃棄物)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



自ら直接  
再生利用する量

② 0.00 t  
0.00 t

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③ 0.00 t  
0.00 t

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧ 0.00 t  
0.00 t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	2.690 t	0.000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t	0.000 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t	0.000 t
⑩全処理委託量	2.690 t	0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

自ら中間処理する量

④ 0.00 t  
0.00 t

④のうち熱回収を行う量

⑤ 0.00 t  
0.00 t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ 0.00 t  
0.00 t

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.00 t  
0.00 t

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨ 0.00 t  
0.00 t

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

⑩ 2.690 t  
0.000 t

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.00 t  
0.00 t

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 0.000 t  
0.000 t

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.00 t  
0.00 t

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

⑭ 0.00 t  
0.00 t

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

